

2022年、新しい年が始まりました。今年こそは新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、日常が戻ってくるといいですね。今月号は、この春3月に卒業を控え、東高での最後の、そして最高のしめくくりをめざす、3年5組・6組・7組の図書委員が、「おすすめの本3冊」を紹介します。

図書館にあります！



3年5組おすすめの本 「つめたいよるに」 江國 香織 著

デュークが死んだ。私のデュークが死んでしまったー。たまご料理と梨と落語が好きで、キスのうまい犬のデュークが死んだ翌日、私は電車の中でハンサムな男の子に巡り合った…。出会いと別れの不思議な一日を綴った「デューク」や、コンビニでバイトする大学生のクリスマスイブを描いた「とくべつな早朝」など、国語の教科書にも載っている話もあるので、ぜひ、探して読んでみてください。



3年6組おすすめの本 「聖域」 コムドット やまと 著

コムドットは、チャンネル登録者数300万人を超える、今大人気の5人組Youtuberです。そのメンバーの一人である、やまとが書いた本が『聖域』です。本名鈴木大飛、通称やまとの生きていくためのポリシーやこれまでの経験、Youtubeに対する思いなどを綴っています。コムドットのメンバーに関することや、自分の経験などを、ユーモアのある文章で書いているので、とても読みやすいです。ぜひ、読んでみてほしいです。



3年7組おすすめの本 「晴れ、時々くらげを呼ぶ」 鯨井 あめ 著

第14回小説現代長編新人賞受賞作。世界に不満を抱く男子高校生と後輩の女子高校生の2人がクラゲを降らせて、ちょっとだけ人々の生活を困らせようとする話です。現実ではありえないような不思議な話ですが、高校生ならではの葛藤や不満、閉塞感、焦燥感など、とても共感できます。自分のもやもやした気持ちを代弁してくれているような小説になっています。ぜひ、手に取ってみてください。

図書館には、他にもたくさんのジャンルの本があります。進路が決まった3年生には、家庭学習期間も含めて、本を読む醍醐味を味わってほしいと思います。ぜひ、自分にあった本を探しに来てください。